

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	38195
事業名	中小企業融資促進費					
評価担当課	所属名	経)産業振興部 商業・経営支援				
	課長名	高橋	担当者名	小松	電話番号	211-2372
施策名	主	創造性を生かしたイノベーションの誘発				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	● 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	札幌市中小企業融資制度の利用促進を図るとともに、中小企業者等が低利で安定した資金調達を円滑に行えるよう支援するため。			
		長期	市内経済を支える中小企業者等の安定した資金調達を支援することにより、札幌の経済・産業の活性化を図るため。			
	取組内容	①中小企業融資保証料補給:中小企業者等が、札幌市中小企業融資制度を利用(金融機関からの融資)する際に必要となる北海道信用保証協会の信用保証料の一部を補給する。 ②中小企業融資損失補償:中小企業融資制度等における北海道信用保証協会の保証付融資が代位弁済に至った場合、契約で定めた損失補償割合を乗じて得た金額について、本市が協会へ損失補償を行う。なお、損失補償後は協会が債権管理を行い、企業等からの回収金は補償割合に応じて本市へ返還される。				
	実施結果	北海道信用保証協会との契約に基づき、505,496千円の信用保証料補給、39,116千円の損失補償を実施。返還金は、168,304千円。				
事業実施における工夫点	なし					
対象者	中小企業者等	開始	昭和29年度	終了	0年度	
関連法令・条例・要綱等	札幌市中小企業振興条例、札幌市中小企業融資制度要綱					
他都市の状況	全国の政令指定都市において概ね実施している。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費	4,022,606	1,691,000	544,611	489,000
うち特定財源	3,347,903	40,000	168,304	47,000
人工	0.4	0.4	0.4	0.4
人件費	2,880	2,880	2,880	2,880
計(事業費+人件費)	4,025,486	1,693,880	547,491	491,880
事業費の内訳	令和3年度決算	信用保証料補給:505,496千円 損失補償:39,115千円		
	令和4年度予算	信用保証料補給:235,000千円 損失補償:254,000千円		

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	年間新規融資件数		
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
	5,734件	7,500件	4,559件	5,000件
活動指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
成果指標1	指標名	保証料補給件数(経営力強化資金、創業・雇用創出資金)		
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
	49件	70件	78件	70件
成果指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
項目	判定	理由		
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	新型コロナウイルスの感染拡大により影響を受けている市内中小企業者等向けの融資において、信用保証料の補給割合を1/2から1/4に変更した。全体としては資金調達に係る負担軽減とともに、損失補償の実施により北海道信用保証協会の積極的な保証承諾を促し、市内経済を支える中小企業者等の円滑な資金調達を支援した。		
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	コロナの流行による長期にわたる自粛要請等により、引き続き多くの新規融資が実行され、それに対応する十分な信用保証料補給枠を用意し、支援を行った。また、損失補償については他の政令指定都市においても同様の水準で実施している。		
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	信用保証料補給については、本市から中小企業者等に直接補給するのではなく、半期ごとに、本市から北海道信用保証協会に支払うことで、効率化が図られている。		
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	自己資金が乏しく、事業の継続にあたって融資を受ける中小企業者等にとっては、資金調達に係る保証料は負担が大きいことから、本事業による負担軽減策は非常にニーズが高い。		
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	新型コロナウイルスの感染拡大状況をはじめとする、中小企業者等を取り巻く経済・経営環境を都度勘案し、適宜見直しを検討する。			
前回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし			
今年度取り組んだ見直し内容	信用保証料補給割合の変更		見直し効果額 (前年度)	0千円
今回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし			
評価の理由	信用保証料の補給割合を見直し、予算規模の適正化を図りつつも、前年度に引き続きコロナの影響を受けた中小企業者等の円滑な資金調達に寄与した。			
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input checked="" type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 休止・廃止 信用保証料の対象となる融資制度や補給割合等について、経済情勢等を踏まえて適宜見直しを実施するとともに、損失補償の実施による融資促進策を継続する。		
	予算	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> その他 コロナ禍の長期化等を踏まえ、信用保証料補給を引き続き実施する。		見直し効果額 0千円